

仕様書（保守）

1. 件名

重粒子線治療管理システムサーバ向け Oracle 保守ライセンス

2. 数量

一式

3. 使用目的

2022 年度に調達した重粒子線治療管理システム（以下、TMS という）の治療運用に使用している計算機において、Oracle ソフトウェア製品を使用している。Oracle ソフトウェアを継続して使用するためには、保守サポートライセンスの更新が必要である。本件は、その Oracle 保守サポートライセンスを更新するものである。

4. 保守期間

2026 年 4 月 1 日 ～ 2027 年 3 月 31 日

5. 納入場所

千葉県稲毛区穴川 4-9-1

国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構

量子医科学研究所 重粒子治療推進棟 R303

6. 仕様

本件は、TMS の治療運用用計算機において使用されている、以下の保守サポートライセンスを更新するものである。

保守契約番号	H1122000459
製品名	Oracle Database Standard Edition 2 [Processor] 保守サポート
数量	4

7. 提出図書

1) ライセンス購入証明書あるいはライセンス保守更新証明書

上記 1) については、紙媒体で 1 部納入すること。また、PDF 化したものを CD-ROM または DVD-ROM に保存し、電子媒体として 1 部納入すること。

8. 検査

- 1) 第7項に定める提出図書を、当機構の担当職員が確認し、検査合格とする。

9. 契約不適合責任

契約不適合責任については、契約条項の定めによる。

10. グリーン購入法の推進

提出図書（納入印刷物）については、グリーン購入法の基本方針に定める「紙類」の基準を満たすこと。

11. その他

- 1) 本請負者は、Oracle 社との間における本件手続きにかかる費用を、本契約金額に含めること。
- 2) Oracle ライセンス保守を移管する場合、保守移管手続き（移管元の販売代理店から「地位移転同意書」を取り寄せる等）に要する費用もすべて本契約金額に含めること。
- 3) 移管手続きが間に合わず遡及料金が発生した場合、その費用は本請負者の負担とする。
- 4) 本請負者は、本件業務において知り得た情報（技術情報、仕様、機能等）を、発注者の許可なく第三者に開示してはならない。
- 5) 仕様内容に疑義がある場合は、当機構の担当者に問い合わせること。

部署名 量子医科学研究所

部課名 物理工学部治療システム開発グループ

使用者氏名 武井 由佳